



スポット
ニュース

瑞浪超深地層研究所坑道埋め戻し確認および 工事完了報告式が行われました

令和4年1月14日、瑞浪市主催の「研究坑道埋め戻し工事完了に伴う現地確認」および「土地賃貸借契約満了に伴う研究坑道埋め戻し工事完了報告式」が開催されました。

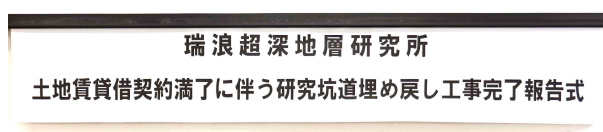
埋め戻し工事の現地確認では、四者協定関係者（岐阜県、土岐市、瑞浪市、原子力機構）により埋め戻し工事および地上施設の撤去について最終確認が行われ、代表して瑞浪市の水野市長から「令和2年2月に埋め戻し工事に着工し、計画通り、事故なく安全に進めていただいた」との講評をいただきました。また、埋め戻し工事完了報告式では、機構の三浦理事より研究坑道の埋め戻し等工事が完了したことを水野市長へご報告いたしました。

今後は、令和4年1月17日から瑞浪市に改めてお借りする市有地にて、地下水の状態を確認するための環境モニタリング調査を5年程度実施し、その後、令和9年度末までに地上施設の基礎の撤去並びに整地作業を完了させる予定です。また、研究開発当初より実施している河川水等の水質分析や騒音・振動測定等の環境影響調査も引き続き行って参ります。

今後も、関係自治体との協定を遵守し、安全の確保と環境の保全を第一に取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



四者協定関係者の最終状況確認



瑞浪超深地層研究所
土地賃貸借契約満了に伴う研究坑道埋め戻し工事完了報告式



研究坑道埋め戻し工事完了報告式
(左：原子力機構 三浦信之理事 右：瑞浪市 水野光二市長)

2月の主な作業予定

①環境測定

【地下水の環境モニタリング調査】

	地下水の水圧・水質観測	地下水の水圧観測
瑞浪用地 (旧瑞浪 超深地層 研究所)	<ul style="list-style-type: none"> ◆地表（6孔） ◆深度100,200,300,400m予備ステージ（各1孔） ◆深度300m研究アクセス坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス北坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス南坑道（1孔） ◆換気立坑接続部（深度500,400,300,200,100m） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆深度300mボーリング横坑（換気立坑側2孔） ◆深度300m研究アクセス坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス北坑道（3孔）
正馬様用地	◆地表（4孔）	

【瑞浪用地周辺の環境影響調査】

- ・ 河川水の水質測定および流量観測、瑞浪用地周辺井戸での水位観測、瑞浪用地周辺における騒音・振動調査

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排出水等の測定結果（令和3年12月分）

【採取日（河川水）：令和3年12月2日】

【単位：mg/L（水素イオン濃度はpH）】

測定項目	管理目標値※1	狭間川下流	参考値※2	狭間川上流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	—	7.0
浮遊物質量	25以下	1		1未満
カドミウム	0.003以下	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満
全シアン	検出されないこと※3	ND(0.1未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.1未満)※4
鉛	0.01以下	0.005未満	0.01以下	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.02未満	0.05以下	0.02未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.01以下	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005以下	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4
PCB	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4
トリクロロフル	0.01以下	0.001未満	0.01以下	0.001未満
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.01以下	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.002以下	0.0002未満
ジクロロメ	0.02以下	0.002未満	0.02以下	0.002未満
1,2-ジクロロメ	0.004以下	0.0004未満	0.004以下	0.0004未満
1,1,1-トリクロロメ	1以下	0.0005未満	1以下	0.0005未満
1,1,2-トリクロロメ	0.006以下	0.0006未満	0.006以下	0.0006未満
1,1-ジクロロフル	0.1以下	0.002未満	0.1以下	0.002未満
ビス-1,2-ジクロロフル	0.04以下	0.004未満	0.04以下	0.004未満
1,3-ジクロロベン	0.002以下	0.0002未満	0.002以下	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.006以下	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.02以下	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.01以下	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.01以下	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.36	10以下	0.38
ふっ素	0.8以下	0.08未満	0.8以下	0.08未満
ほう素	1以下	0.02未満	1以下	0.02未満
1,4-ジオキサン	0.05以下	0.005未満	0.05以下	0.005未満

※1 環境基本法に定められた基準値以下で管理するため、同法の基準値を「管理目標値」として設定しています。

※2 狭間川上流は管理対象外であるため、環境基本法の基準値を「参考値」として表示しています。

※3 「検出されないこと」とは、測定項目ごとに定められた検定（測定）方法で測定した結果が当該検定方法の定量限界を下回ることを表します。

※4 「ND」とは目的の成分が検出できないほど微量か、またはゼロであることを表します。NDの後のカッコ内の数値は検出限界値を表します。

河川水の塩化物イオン濃度の測定結果(12月)

【採取日：週2回】

(単位：mg/L)

測定項目	狭間川上流	明世小学校前取水口
塩化物イオン濃度 ※カッコ内は月平均の値を示す (有効数字2桁 3桁目は切り捨て)	1.5～1.7 (1.5)	3.7～6.4 (5.3)

◆令和3年5月を以て「立坑の湧水」及び「工事排水」の測定が終了したことから、現在、狭間川の上流と明世小学校前取水口の河川水のみ測定を行っています。

地層研ニュースに関するご意見・ご要望 土岐地球年代学研究所見学のご質問・申込先

☎ 0572-53-0211（代表）

✉ tono-ck@jaea.go.jp（ご意見・ご要望）

☎ 0572-55-4114

連絡先：東濃地科学センター 総務・共生課 まで

〈見学のご案内〉

【見学可能日時】平日(月・水)9:00～12:00、13:30～16:00（詳細は右QRコードを参照）

【見学時間】1時間10分程度(東濃地科学センターの概要説明、分析室等の見学)

【対象年齢】小学4年生以上(小学生の方は、保護者同伴)

【見学人数】1団体4名以下(新型コロナウイルス感染症対策のため少人数での見学)

※新型コロナウイルスの感染拡大を受け、見学の受け入れを中止する場合がございます。

見学の開催等については、上記の連絡先(電話、メール)にお問い合わせください。



《見学案内HP》



原子力機構公式 Twitter
https://twitter.com/jaea_japan



原子力機構の Twitter では研究成果やイベント情報などをお知らせしています。

